

## 開催案内：令和三年度構造工学セミナー「構造工学におけるカーボンニュートラルへの取り組み」

2050年までに、国内の温暖化ガスの排出を「実質ゼロ」にするという、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、日本政府や企業による脱炭素技術の開発が、昨今、本格化してきています。

建設業界においても例外ではなく、環境に配慮したコンクリートの活用、コンクリートや鉄鋼などの材料の製造過程でのCO<sub>2</sub>排出量の削減、ICT技術の導入による作業の効率化など、さまざまな取り組みが始まっています。

今回の構造セミナーは、こうした状況を鑑み、構造工学という観点からカーボンニュートラルにどのように取り組んでいけばよいかを考える機会として、国としての全体的な取り組みから、材料、設計・施工に至る取り組みまで、幅広い観点から各機関の専門家にご講演をいただくセミナーを企画致しました。多くの皆様の参加をお待ちしております。

1. 主催：土木学会（構造工学委員会）
2. 期日：2022年2月4日（金）
3. 会場：オンライン（Zoom 大規模ミーティング）
4. 定員：500名
5. 参加費：会員 2,000円、非会員 3,000円、学生 1,000円

司会：細谷 学（大成建設株式会社）

- |             |                                 |                                     |
|-------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 13：00～13：10 | 開会挨拶                            | 構造工学委員会委員長 岩城一郎（日本大学）               |
| 13：10～13：45 | 「国土交通グリーンチャレンジ」の推進              | 木村嘉富（国土交通省 国土技術政策総合研究所 所長）          |
| 13：45～14：20 | 構造物のライフサイクルを通じたカーボンニュートラルに向けて   | 河合研至（広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授）          |
| 14：20～14：55 | カーボンニュートラルに向けたコンクリート材料の取り組み     | 大脇英司（大成建設株式会社技術センター社会基盤技術研究部 主幹研究員） |
| 14：55～15：05 | 休憩                              |                                     |
| 15：05～15：40 | 鉄鋼業の低炭素およびカーボンニュートラルに向けての取り組み   | 小野 透（一般社団法人日本鉄鋼連盟 特別顧問）             |
| 15：40～16：15 | 低炭素コンクリート代替材料の構造部材への適用拡大の際の課題   | 鍵本広之（電源開発株式会社茅ヶ崎研究所 所長）             |
| 16：15～16：50 | 施工者から見た2050年のカーボンニュートラルが持つインパクト | 春日昭夫（三井住友建設株式会社執行役員副社長 CTO、fib 会長）  |
| 16：50～17：00 | 閉会挨拶                            | 構造工学委員会副委員長 本間淳史（東日本高速道路株式会社）       |

以上